



水道橋畔発

Transmission from SUIDOUKYOUHAN

第20号 平成26年6月

巻頭言

病院長 矢島安朝



東京歯科大学水道橋病院は、4月より診療、臨床教育の新たな体制が整いました。教授11名、准教授12名、講師20名、助教28名、レジデント31名の合計102名の医局員構成で毎日の診療、教育が行われています。また大学院生89名、臨床研修歯科医15名も各科で診療を行っております。

さらに、5年生の臨床実習（登院）もこの4月より、33年ぶりに水道橋病院を主体として開始されました。4月からの新体制により、水道橋病院は大変活気にあふれた外来、病棟に変貌いたしました。ご期待いただきたいと存じます。

4月より医療連携室の人員も増やし、さらなる医療連携の強化を図って行きたいと計画しております。先生方からご紹介いただいた患者様が、安全、確実に治療がなされ、満足されて先生方の診療室に一日も早く戻ることができるよう医局員、スタッフ一同努力してまいります。今後とも、新たな一歩を踏み出した東京歯科大学水道橋病院を何卒よろしくお願い申し上げます。

総合歯科

総合歯科の診療室は本館2階にあり、40台の診療ユニットを備えています。以前の診療室は3階でしたが、旧血脇ホールを改装し2012年2月に新しくなりました。水道橋という都市中心部において、様々な患者の要望に応えるべく、保存・補綴を中心とした一口腔単位の総合的治療を実施しています。常に、高いレベルの診療技術と高度な医療機器を備え、高品質で最先端の医療を提供致します。初診で来院した患者を終診まで、一

人のドクターが責任を持って担当するスタイルを原則としています。

医局員教育には、各学会の指導医や専門医の資格を有する常勤ドクターによる直接指導と、学外で高名な先生方を臨床教授、講師としてお招きすることによる、二本立ての教育システムを採用しています。また、毎週開催される症例検討会と勉強会を通じて、外来での技術の裏付けとなる知識と表現力の修得にも重点を置いています。

本務教員は以下のメンバーです。

山下秀一郎（部長）、堀田宏巳、杉戸博記、亀山敦史、三宅菜穂子、藤波弘州、早川裕記（医局長）、陽田みゆき、春山亜貴子



補綴科

補綴科は、3階の高度歯科医療センター保存科・補綴科診療室において診療しています。この補綴科医局員は、櫻井 薫教授の有床義歯補綴学講座の医局員27名と佐藤 亨教授のクラウンブリッジ補綴学講座の医局員17名で診療担当しています。教育は有床義歯とクラウンブリッジと専門教育領域が分かれていますが、外来診療においては両講座医局員が皆で補綴診療を担当しています。

補綴科には、日本歯科補綴学会、日本老年歯科学会、日本歯科審美学会、日本接着歯学会の専門医・認定医を有している多くの医局員がおります。難易度の高い補綴

東京歯科大学水道橋病院の理念「思いやりの心による医療」

治療症例、専門性の高い高齢者治療や審美歯科治療のみならず、CAD/CAM を応用したデジタルデンティストリーといわれる先進医療も行っております。診療室の名前の通り、高度歯科医療センター補綴科として質の高い診療を提供していきます。

補綴は先生方の日常臨床で欠かすことのできない診療行為です。最近では患者さんの診療に対する要求レベルも高くなっております。必要があるようでしたら先生方へのアドバイスあるいはご支援が出来ればと考えます。

補綴科の本務教員は以下のメンバーです。

櫻井 薫（副病院長）、佐藤 亨（部長）、上田貴之、山田将博、野本俊太郎（医局長）、田坂彰規、四ッ谷 護、竜 正大、古池崇志、宅間裕介、小山 拓

保存科

保存科は、歯科保存学講座（古澤成博教授、村松 敬教授、末原正崇講師、間 奈津子助教、レジデント 1 名、大学院生 5 名、臨床専門専修科生 6 名）と歯周病学講座（齋藤 淳教授、衣松高志講師、勢島 典助教、石井善仁助教、大学院生 11 名、臨床専門専修科生 1 名）の 2 講座の医局員が診療にあたっております。

歯科保存学講座は主に歯内療法を専門とし、原因の解明が難しい難治性根尖性歯周炎などの処置を行っており、診断にはコーンビーム CT を、治療に際してはマイクロスコプを用いることで治療の精度を高めています。このことにより上顎大臼歯近心頬側根の第 2 根管など、通常の治療では発見しにくく、根尖病巣の原因となりやすい解剖学的形態も適切に把握し、対応を行っています。

歯周病学講座では歯周病治療を専門とし、綿密な予後判定と治療計画に基づいた治療により、長期的な治療成果を得るべく力を注いでいます。特にエナメルマトリックスデリバティブの応用に代表される歯周組織再生療法を精力的に行っております。また、近年の審美的要求の増加に伴い需要が高まっている歯周形成外科手術にも取り組んでおり、患者さんの QOL の維持・向上を目指しています。

スポーツ歯科

2002 年 4 月、スポーツ歯学研究室のさらなる組織の充実を図る為、その活動中心の場として水道橋病院から千葉校舎に研究室と診療科が移転されました。千葉病院では、現在診療科は“健康・スポーツ歯科”と外部表示化されています。これは、診療科としての特色を活か

しプロ・アマ各競技への歯科的サポート活動や中高齢者でスポーツをとうして QOL の維持・向上を目指すスポーツ愛好家へのサポート以外に今後中高齢者の転倒予防や体力維持・向上等に歯科領域からのサポートを臨床現場で活かせるようそのプログラムを確立し実施していく事を見据えての事です。大学では、本年 4 月大学自体の活動拠点を水道橋に戻し、新たな歴史のスタートを切る事となりました。これに伴いスポーツ歯科では、石上恵一教授と武田友孝准教授と大学院生らが水道橋での活動を行い千葉病院では、中島一憲講師が 2 名のレジデントとともにこれまでと同様にその対応に充たることとなりました。現在、石上教授と武田准教授、中島講師が初の日本体育協会公認のスポーツデンティストを目指し申請中ですが、公認されれば本来のスポーツ歯科の領域とされている学校体育・生涯スポーツ・競技スポーツへのさらなる貢献と 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けて水道橋病院を拠点としてこの分野のリーダーとして活動出来ればと考えています。さらに、石上教授と武田准教授が JOC 公認：スポーツドクターを委嘱されているところから年数回国立スポーツ科学センターに赴き特にスケート等の冬季オリンピック強化選手の歯科検診を行い、必要ならば水道橋病院等で歯科治療・カウンセリング等の対応を行っています。水道橋という選手も通い易い立地条件を活かし 4 年後の韓国・平昌冬季オリンピックを目指す選手にも最高のコンディションで競技してもらえようサポート出来ればとも思っております。多くのスポーツ選手、スポーツ愛好家、そして国民の健康をサポートできる“健康・スポーツ歯科”をこの水道橋病院に確立出来るよう頑張りたいと思います。



摂食・嚥下リハビリテーション・地域歯科診療支援科

当科は摂食嚥下リハビリテーションを主要診療項目とし、外来や在宅歯科診療を通じて地域の先生方と円滑な

医療連携体制を築くことを第一義としております。

水道橋病院における当科稼働に際しまして、本務教員 歯科医師 2 名（石田 瞭准教授、大久保真衣講師・いずれも日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士）からと規模は小さいのですが、最善の努力を重ねてゆく所存でございます。これまでの千葉と東京を同じ視点で見るわけにはゆきませんが、東京は全国的にみても比類なく高齢者数が増大しております。口から食べられなくてお困りの高齢患者様も多くいらっしゃるのが現状です。千葉における当科の臨床成果が、そのような方々にも役立つことを確信しております。尚、障害をお持ちの子供達に対する摂食指導も行っております。

当科外来診療室は、水道橋病院 2 階の総合診療室となります。訪問診療をご希望の場合は、訪問先に直接おうかがいたしますが、ご紹介元の先生と共に拝見することも可能です。水道橋を拠点に、先生方と新たな連携体制を構築することが出来ましたら幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。



口腔インプラント科

口腔インプラント科は 4 月より千葉病院からのメンバーが加わり新しく生まれ変わりました。また、今まで長い間口腔インプラント科科長を務められた関根秀志先生は、新年度より奥羽大学歯学部教授にご就任されました。新メンバーに加えて、公益社団法人日本口腔インプ



ラント学会認定の専門歯科衛生士や認定歯科技工士もチームに参加し、歯科インプラント治療に特化した専門性を重視した万全の態勢を取っております。今後は、先生方とより綿密な医療連携を図り、地域の歯科インプラント治療の拠点として貢献できればと考えております。何卒、宜しくお願い申し上げます。

部 長 矢島 安朝

医 局 長 高梨 琢也

医 員 本間 慎也、佐々木穂高、松崎 文頼

古屋 克典、森岡 俊行、守 源太郎

客員教授 松浦 正朗

臨床教授 飯島 俊一、椎貝 達夫、武田 孝之

臨床講師 木津 康博

学会認定専門歯科衛生士 中浜 典子、山口 祥子

学会認定歯科技工士 平林 剛

大学院生 15 名

矯正歯科

矯正歯科は現在、診療室の改修はありませんが、4 月からの移転に伴い本務教員が 4 名から 6 名に増員されました。内訳は講師の片田英憲、宮崎晴代、西井 康、助教の内田悠志、安村敏彦、飯塚美穂です。これにレジデントの 6 名が加わり 12 名体制で診療を行っています。内容は一般的な不正咬合の他、顎変形症や先天疾患の矯正治療、セカンドオピニオンなど多岐にわたって対応しています。病院は随時改築されておりますが、矯正歯科も西館完成後、技工室の移動に伴い改修が始まる予定です。改修後は診療台も増え、より快適で高度な治療を提供いたします。医局員の増員により予約も今まで以上に入りやすくなりましたので、今後ともよろしくお願いいたします。



小児歯科

小児歯科では、移転に伴う診療室の拡充は、まだ先の予定になっておりますので、診療室の場所や大きさは水道橋病院ができた当時と変わっていません。狭い診療室ですが、診療スタッフは充実しており質の高い診療を行う

ことができていると自負しております。4月から本務教員3名と、小児歯科学会専門医を目指す専修科生4名による診療体制となっています。

本務教員は、新谷誠康教授（部長）、辻野啓一郎講師（医局長）、櫻井敦朗講師の3名です。新谷教授はこの4月から移転に伴い、水道橋病院に異動となりました。櫻井講師は昨年より、千葉病院と兼任で水道橋病院での診療にあたっていますが、4月から主に水道橋病院勤務となりました。辻野講師は昨年10月に、1年半の群馬県歯科総合衛生センター（障がい者歯科診療所）出向を終え、水道橋病院に戻ってきました。

また、障がい者歯科も基本的に同じ診療室で行っており、大多和由美准教授と共に小児歯科医局員も障がい者歯科診療にあたっています。そして、大多和准教授（障がい者歯科）も同じ診療室で小児歯科診療に携わっています。

学会認定医等は以下の通りです。

新谷 誠康 日本小児歯科学会専門医・指導医

辻野啓一郎 日本小児歯科学会専門医・指導医

小児口腔外科学会認定医・指導医

櫻井 敦朗 日本小児歯科学会専門医

大多和由美 日本小児歯科学会専門医・指導医

診療は、都心の大学病院小児歯科ということで、開業の先生方から紹介いただいた患者が多く来院されています。過剰歯、歯数不足、萌出困難歯、外傷や低年齢児齲蝕といった小児歯科専門医の診断、治療が必要な症例を多く担当させていただいております。

障がい者歯科

障がい者歯科では、それぞれの患者様のニーズや状態に合わせて、安全で良好な歯科治療のために行動調整、全身麻酔や鎮静法を応用して進めていきます。診療室は小児歯科外来、専門外来、歯科麻酔科外来を患者様に合わせて選択しています。歯科医療の立場から、口腔疾患の予防、口腔ケア、機能訓練を通して口腔機能の回復、発達支援を行い、健康づくりのサポートをしていきたいと思っております。

障がい者歯科、小児歯科の医局員が診療スタッフです。また、神奈川県立こども医療センター歯科部長を務められていた池田正一臨床教授も診療や指導にあたっています。

学会認定医等は以下の通りです。

大多和由美 日本障害者歯科学会指導医

新谷 誠康 日本障害者歯科学会認定医

辻野啓一郎 日本障害者歯科学会指導医

櫻井 敦朗 日本障害者歯科学会認定医

患者様のなかには、待つことや周囲の音が苦手な方などがいらっしゃると思います。それぞれの患者様のニーズに合わせた診療を進めるため、そしてお待ちせしないためにご予約をお願いしております。また、来院前のご相談もお待ちしております。

眼科

水道橋病院眼科は、2000年に当時病院長でいらした金子 譲前理事長のご尽力で新設され、来年で15年になります。白内障手術や近視を治す屈折矯正手術においては、日本のみならず国際的にも臨床および研究成果が評価されています。特に、先進医療として承認されている多焦点眼内レンズは、全国最多の症例数をもち、昨年から次世代の手術技術として注目されているフェムトセカンドレーザーを導入し、この分野で日本をリードする眼科にまで成長しました。

ビッセン弘子（教授）、吉野真未（助教）、平沢 学（助教）の常勤医師3名に加え、中村邦彦（非常勤講師、たなし中村眼科院長）、網膜硝子体専門の井上 真（非常勤講師、杏林大学准教授）が外来を担当し、多くの疾患に対応できるようにしています。眼科スタッフと共に、患者との会話を重視したサービスに心がけ、その成果あつたか新聞、雑誌、テレビなどのメディアでも取り上げられています。



左から井上、平沢、ビッセン、吉野、中村医師

口腔外科

いつもご紹介いただき、ありがとうございます。この4月より水道橋病院口腔外科に千葉病院口腔外科から医局員の異動を行い、水道橋病院口腔外科のスタッフを増員しました。このことにより、今まで以上に多くの疾患に対してスムーズな診療体制をとることが可能になりました。**顎変形症、口腔がんを含む腫瘍、唇顎口蓋裂、末梢神経障害、顎関節症、智歯抜歯をはじめとする小手術**

など、それぞれ専門分野とするスタッフがそろっておりますので、是非とも先生方のお力になれる際にはご紹介いただければ幸いです。今後も先生方からのご意見を参考によりよい病診連携を保ち、スムーズな情報交換ができますよう努力していく所存です。

口腔外科予約受付 電話番号 03-5275-1725

平日：午前9時～午後5時、

土曜日：午前9時～午後1時

※初診は予約制ですので、あらかじめお電話にてご予約をお取りくださいますよう患者様にご案内ください。初診当日は「健康保険証」と「診療情報提供書」を持参のうえ、初診受付窓口にご来院されるようご指示ください。

[初診時の処置について]

・緊急の処置以外、初診日の観血処置はお受けできない場合があります。

[急性症状がある場合、悪性腫瘍が疑われる場合]

・急性炎症、外傷、出血など、緊急の対応が必要な場合は、あらかじめ先生から

口腔外科受付 03-5275-1725 にご連絡をお願い致します。

医局員一覧		主な専門分野
教授（部長）	柴原 孝彦	悪性腫瘍、粘膜疾患
客員教授	齊藤 力	顎変形症、唇顎口蓋裂
病院教授（部長代理）	高野 正行	顎変形症
講師（医局長）	笠原 清弘	顎変形症
講師	山本 信治	悪性腫瘍
講師（非常勤）	秋元 善次	口腔外科一般
助教	渡邊 章	顎変形症、唇顎口蓋裂
助教（教室幹事）	村松恭太郎	顎変形症、顎関節症
助教（外来医長）	菅原 圭亮	顎変形症
助教（病棟医長）	山村 哲生	口腔外科一般
助教	村山 雅人	末梢神経障害
レジデント	11名	
臨床専門専修科生	3名	

歯科麻酔科

水道橋病院歯科麻酔科は、主に手術室と外来のふたつの業務を行っています。手術室では、口腔外科手術の全身麻酔が中心です。歯科麻酔科外来では、心疾患等をお持ちの有病患者や障がい者の方々に安全で快適な歯科治療を提供するためのいわゆる全身管理業務を行っています。また当科は「口腔顔面痛みセンター」と「リラックス外来」のふたつの専門外来を有しています。口腔顔面痛みセンターは、咀嚼筋等の慢性的な筋肉痛、抜歯や口腔インプラント手術後の下歯槽神経知覚鈍麻や神経障害

性疼痛等の難治性の痛みに対する治療を行っており、年間300名以上の新患が来院しています。リラックス外来は、嘔吐反射や歯科治療に対する恐怖心が強く通常の歯科治療が困難な方に対し、静脈内鎮静法や全身麻酔法等を併用して円滑な歯科治療を行っており、年間約150名の新患が来院しています。当科では、一戸達也教授、福田謙一准教授、半田俊之講師、塩崎恵子助教他総勢17名で診療にあたっています。

今後も地域の先生方との医療連携をさらに充実させていきたいと思っております。一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



放射線科

放射線科は本年4月より、千葉病院から2人の本務教員を迎え、3人（和光 衛准教授、西川慶一講師、井本研一助教）体制で診療を開始致しました。まずは、画像の提供・診断を通して病診連携を充実させたいと考えております。

デジタル化の時代を迎え、個人情報保護、通信セキュリティの問題を解決すれば画像情報通信・共有そして歯科における遠隔画像診断支援としての医療連携が可能になります。現在、パノラマ画像の異常所見を自動検出するCAD（Computer Aided Diagnosis）システムがありますが、今後は歯科用CBCTを対象としたCAD異常検出も可能になり遠隔画像診断が求められてくると



思います。また、3Dプリンターの導入によって、画像上でしか得られなかったVirtual realityを医科用CT DICOMデータをもとに造形モデルとして先生方に提供することも可能になるでしょう。樹脂を利用すれば、骨内部の造形モデルをベースにインプラントシミュレーションなどもよりrealに再現できます。問題は需要の有無です。当科と開業医の先生方との画像を通じての夢の架け橋を構築すべく鋭意努力したいと思っておりますので、まずは是非、医科用CT検査のご依頼をお願い申し上げます。

内科

内科では、生活習慣病などの一般内科疾患を主として扱っていますが、それぞれの医師の専門を活かし診療にあたっております。胃カメラや超音波検査装置も備え、睡眠時無呼吸症候群の簡易検査、24時間ホルター心電図など検査体制も整って参りました。金属アレルギー検査も随時行っておりますので、ご予約をお待ち致しております（夏季は除く）。

また、歯科と連携のもと禁煙外来も成果をあげています。いくつかの条件はありますが、患者様の健康増進の一助として是非ご活用ください。

消化器：月・火 午後 循環器：月 午前 呼吸器：木 午前 神経：火 午前 水・金 一般内科：月～土	禁煙外来：水 午後 睡眠時無呼吸：水・金 胃カメラ：水 午前 超音波検査：土 午前
教授・兼任 大久保 剛 准教授・科長 仁科 牧子 ご予約は 03-5275-1926	

臨床検査部

大学の水道橋移転に伴い、臨床検査部に臨床検査病理学講座の歯科医師が配属されました。これまで、臨床検査室では2名の臨床検査技師が各診療科からの依頼により検査を行ってきましたが、これからは歯科医師も各診療科を支援するようになります。そして、平成26年4月からは臨床検査部長の井上 孝教授、部長代理の松坂賢一准教授、医局長会委員として村上 聡講師および國分克寿助教、橋本和彦助教が臨床検査部として新たに

加わり、地域医療連携に従事し、エビデンスベースの歯科医療の確立のためにお手伝いできることを目標にしていきたいと思っています。実際に臨床検査部が充実した施設になるのには数年後の西館の完成後になると思いますが、現在の施設や設備、そしてスタッフでできることから出発していこうと考えています。開業歯科医の先生方からの検査依頼や大学病院ならではの設備を活かした臨床検査や患者対応等について行えるようにいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

※患者さまには各科の直通電話番号をお知らせ下さいます様をお願いします。

東京歯科大学水道橋病院 直通電話番号(各科受付)一覧	
総合 歯 科	03-5275-1721~2
ス ポ ー ツ 歯 科	03-5275-1721~2
保 存 科・補 綴 科	03-3262-3425~6
口腔インプラント科	03-5275-1760
小 児 歯 科	03-5275-1723
障 が い 者 歯 科	03-5275-1723
矯 正 歯 科	03-5275-1724
口 腔 外 科	03-5275-1725
歯 科 麻 酔 科	03-5275-1851
眼 科	03-5275-1856
内 科	03-5275-1926
放 射 線 科	03-5275-1953
臨 床 検 査 室	03-5275-1614
地 域 医 療 連 携 室	03-5275-1732
医 事 課 外 来	03-5275-1932
FAX(各科共通)	03-3262-3420

※摂食嚥下リハ科へは地域医療連携室へお願いします。

水道橋病院 診療案内	
初診受付	平日、土曜とも 午前9時から11時
お問い合わせ時間	平日 午前8時45分から午後6時 土曜 午前8時45分から午後1時
休診日	第2土曜、日曜、祝日、 本学創立記念日(2月12日)、年末年始

水道橋畔発編集委員

編集委員長 片田英憲

編集委員 大多和由美、高野正行、山下秀一郎、
仁科牧子、鴨田みゆき、小島桂子、
上島文江、菅沼弘春、杉戸博記、
吉田成彦、旗手重雅、迫田将洋